

(様式1) 補助金等シート  
(1) 補助内容

スポーツ課-1  
令和8年度予算用

1	名称 (予算事業名)	鈴鹿市スポーツ推進委員協議会補助金											
		予算事業名	スポーツ推進委員費										
		予算事業コード	01334										
2	交付開始年度	不明	—	年度	創設から	—	年度目	3	終期	令和	8	年度	
4	分類	団体運営費補助						5	所属	スポーツ課			
6	根拠法令	鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱											
7	事業の目的・概要	本市のスポーツ振興の中心的役割を担っているスポーツ推進委員により構成する当協議会を財政支援することにより、市のスポーツ振興全般の推進を図る。 この支援により、市のスポーツ振興に関し、幅広い、きめ細かい事業の推進が可能になる。											
8	補助対象者	鈴鹿市スポーツ推進委員協議会											
	交付先(補助対象者と異なる場合)												
9	補助金額等	(単位:千円)	補助対象事業費(A)	財源内訳				補助率(B/A)	補助対象事業費の繰越額(C)	補助金に対する繰越金の割合(C/B)			
			市補助金(B)	国補助金	県補助金	その他							
		R5年度決算額	1,051	689	0	0	362	65.6%	0	0.0%			
		R6年度決算額	945	689	0	0	256	72.9%	0	0.0%			
		R7年度当初予算額 R8年度予算要求額	959 910	689 689	0 0	0 0	270 221	71.8% 75.7%					
10	補助対象事業費の内訳(具体的に記載)	各種会議・研修会開催経費、各種専門委員会開催経費、広報誌作成、役員費、需用費等											
	補助金等の算出根拠(具体的に記載)	事務費 50,000円、事業推進費 425,000円、広報費 65,000円、総務費149,000円											
	増減理由												

(2) 補助金等判断基準

11	総合評価点	20	12	適否の評価	継続
13	補助金等の判断基準	評価点	評価の理由		
	必要性	5	総合計画の施策である、生涯スポーツの推進と合致するものであり、各種事業への市民の参加及びニーズも高い。 また、市では同種の事業を実施しておらず、当協議会が、地区スポーツ振興の指導的役割を担っており、市民のための生涯スポーツの普及に多大に貢献している。		
		(減点) 0			
	公平性	5	特定の個人・団体等に特権的な恩恵や利益を与えるものではなく、広く市民のためにスポーツ振興事業を実施している。		
	効果性	5	【評価の理由】 市民のニーズに応じたスポーツ振興の促進を図りつつ、各種スポーツ事業等を実施しており、今後も地区スポーツ振興のさらなる進展が見込まれる。		
【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況(具体的に記載)】  競技スポーツを除く鈴鹿市のスポーツ振興全般に貢献している。					
透明性	5	事業計画書に沿った活動を行い、適切な会計処理を行っている。			
	(減点) 0				

(3) 終期延長の理由(終期を延長した初年度のみ記入)

前回終期 令和 年度

--

(様式1) 補助金等シート  
(1) 補助内容

スポーツ課-2  
令和8年度予算用

1	名称 (予算事業名)	鈴鹿市ママさんバレーボール連盟補助金										
		予算事業名		地域住民スポーツ活動費								
		予算事業コード		01335								
2	交付開始年度	不明	—	年度	創設から	—	年度目	3	終期	令和	8	年度
4	分類	事業費補助							5	所属	スポーツ課	
6	根拠法令	鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱										
7	事業の目的・概要	本市のママさんバレーボールの普及・振興に中心的役割を担っている当連盟を財政支援することにより、市のママさんバレーボール振興の推進を図る。 この支援により、市民の健康増進と、スポーツに対する関心及び理解を深めるための各種大会等事業の推進が可能になる。										
8	補助対象者	鈴鹿市ママさんバレーボール連盟										
	交付先(補助対象者と異なる場合)											
9	補助金額等	(単位:千円)	補助対象事業費(A)	財源内訳				補助率(B/A)	補助対象事業費の繰越額(C)	補助金に対する繰越金の割合(C/B)		
				市補助金(B)	国補助金	県補助金	その他					
		R5年度決算額	103	68	0	0	35	66.0%	0	0.0%		
		R6年度決算額	139	68	0	0	71	48.9%	0	0.0%		
		R7年度当初予算額 R8年度予算要求額	139 139	68 68	0 0	0 0	71 71	48.9% 48.9%				
10	補助対象事業費の内訳(具体的に記載)	各種大会開催費、事務費										
	補助金等の算出根拠(具体的に記載)	前年度の実績に基づいて算出										
	増減理由											

(2) 補助金等判断基準

11	総合評価点	20	12	適否の評価	継続
13	補助金等の判断基準	評価点	評価の理由		
	必要性	5	総合計画の施策である、市民参加型スポーツの推進と合致するものである。 また、市内では唯一、当連盟がこの分野を担っており、市民のためのママさんバレーボールの普及に貢献している。		
		(減点) 0			
	公平性	5	特定の個人・団体等に特権的な恩恵や利益を与えるものではなく、広く市民のためにスポーツ振興事業を実施している。		
	効果性	5	【評価の理由】		
市民のニーズに応じたスポーツ振興の促進を図りつつ、各種スポーツ大会等を実施しており、今後もママさんバレーボール振興のさらなる進展が見込まれる。 【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況(具体的に記載)】 鈴鹿市ママさんバレーボール連盟主催の大会には、多くの市民が参加しており、ママさんバレーボールの普及及びスポーツ振興に貢献している。					
透明性	5	事業計画書に沿った活動を行い、適切な会計処理を行っている。 また、団体構成員からの会費や参加費等を積極的に徴収するなど、自主財源の確保にも努力をしている。			
					(減点) 0

(3) 終期延長の理由(終期を延長した初年度のみ記入)

前回終期 令和 年度

--

(様式1) 補助金等シート  
(1) 補助内容

スポーツ課-3  
令和8年度予算用

1	名称 (予算事業名)	鈴鹿市家庭婦人ソフトボール連盟補助金											
		予算事業名	地域住民スポーツ活動費										
		予算事業コード	01335										
2	交付開始年度	不明	—	年度	創設から	—	年度目	3	終期	令和	8	年度	
4	分類	事業費補助					5	所属	スポーツ課				
6	根拠法令	鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱											
7	事業の目的・概要	本市のソフトボールの普及・振興に中心的役割を担っている当連盟を財政支援することにより、市のソフトボール振興の推進を図る。 この支援により、市民の健康増進と、スポーツに対する関心及び理解を深めるための各種大会等事業の推進が可能になる。											
8	補助対象者	鈴鹿市家庭婦人ソフトボール連盟											
	交付先(補助対象者と異なる場合)												
9	補助金額等	(単位:千円)	補助対象事業費(A)	財源内訳				補助率(B/A)	補助対象事業費の繰越額(C)	補助金に対する繰越金の割合(C/B)			
				市補助金(B)	国補助金	県補助金	その他						
		R5年度決算額	40	25	0	0	15	62.5%	0	0.0%			
		R6年度決算額	60	25	0	0	35	41.7%	0	0.0%			
		R7年度当初予算額 R8年度予算要求額	80 80	25 25	0 0	0 0	55 55	31.3% 31.3%					
10	補助対象事業費の内訳(具体的に記載)	各種大会開催費											
	補助金等の算出根拠(具体的に記載)	前年度の実績に基づいて算出											
	増減理由												

(2) 補助金等判断基準

11	総合評価点	20	12	適否の評価	継続
13	補助金等の判断基準	評価点	評価の理由		
	必要性	5	総合計画の施策である、市民参加型スポーツの推進と合致するものである。 また、市内では唯一、当連盟がこの分野を担っており、市民のためのソフトボールの普及に貢献している。		
		(減点) 0			
	公平性	5	特定の個人・団体等に特権的な恩恵や利益を与えるものではなく、広く市民のためにスポーツ振興事業を実施している。		
	効果性	5	【評価の理由】		
市民のニーズに応じたスポーツ振興の促進を図りつつ、各種スポーツ大会等を実施しており、今後もソフトボール振興の進展が見込まれる。 【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況(具体的に記載)】 年数回の大会を開催することで、ソフトボールの普及及びスポーツ振興に貢献している。					
透明性	5	事業計画書に沿った活動を行い、適切な会計処理を行っている。 また、団体構成員からの会費や参加費等を積極的に徴収するなど、自主財源の確保にも努力をしている。			
	(減点) 0				

(3) 終期延長の理由(終期を延長した初年度のみ記入)

前回終期 令和 年度

--	--

(様式1) 補助金等シート  
(1) 補助内容

スポーツ課-4  
令和 8 年度予算用

1	名称 (予算事業名)		三重バイオレットアイリス強化育成補助金										
	予算事業名		スポーツクラブ振興費										
	予算事業コード		01338										
2	交付開始年度	平成	20	年度	創設から	19	年度目	3	終期	令和	8	年度	
4	分類	団体運営費補助					5	所属	スポーツ課				
6	根拠法令	鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱											
7	事業の目的・概要	平成17年に総合型地域スポーツクラブとして設立されたNPO法人花菖蒲スポーツクラブが運営する、女子ハンドボールチーム「三重バイオレットアイリス」のリーグH(旧日本ハンドボールリーグ)加盟登録費を支援することにより、ハンドボールの普及及び競技力の向上を図るとともに、リーグH等の開催により、本市のシティセールスが期待される。											
8	補助対象者	NPO法人 花菖蒲スポーツクラブ											
	交付先(補助対象者と異なる場合)												
9	補助金額等	(単位:千円)	補助対象事業費(A)	財源内訳				補助率(B/A)	補助対象事業費の繰越額(C)	補助金に対する繰越金の割合(C/B)			
				市補助金(B)	国補助金	県補助金	その他						
		R5年度決算額	6,950	570	0	0	6,380	8.2%	0	0.0%			
		R6年度決算額	10,974	570	0	0	10,404	5.2%	0	0.0%			
		R7年度当初予算額 R8年度予算要求額	11,000 11,000	570 570	0 0	0 0	10,430 10,430	5.2% 5.2%					
10	補助対象事業費の内訳(具体的に記載)	加盟登録費(リーグ加盟、登録、大会参加費)											
	補助金等の算出根拠(具体的に記載)	前年度の実績に基づいて算出(加盟登録費の概ね20分の1程度)											
	増減理由												

(2) 補助金等判断基準

11	総合評価点	20	12	適否の評価	継続
13	補助金等の判断基準	評価点	評価の理由		
	必要性	5	総合計画の施策である、市民参加型スポーツの推進と合致するものである。		
		(減点) 0			
	公平性	5	特定の個人等に特権的な恩恵や利益を与えるものではない。		
	効果性	5	【評価の理由】 日本最高峰のハンドボールの試合が、市内で観戦することができる。また、本市のシティセールスに寄与するとともに、ハンドボールの普及活動や市民との交流を行っている。		
【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況(具体的に記載)】 市内において日本最高峰のハンドボールの試合を観戦することができる。					
透明性	5	事業計画書に沿った活動を行い、適切な会計処理を行っている。			
	(減点) 0				

(3) 終期延長の理由(終期を延長した初年度のみ記入) 前回終期 令和 年度

--

(様式1) 補助金等シート  
(1) 補助内容

スポーツ課-5  
令和 8 年度予算用

1	名称 (予算事業名)	鈴鹿市スポーツ協会											
		予算事業名	鈴鹿市スポーツ協会補助										
		予算事業コード	02079										
2	交付開始年度	不明	—	年度	創設から	—	年度目	3	終期	令和	8	年度	
4	分類	団体運営費補助					5	所属	スポーツ課				
6	根拠法令	鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱											
7	事業の目的・概要	本市のスポーツの普及・振興に中心的役割を担っている当協会を財政支援することにより、市のスポーツ振興及び競技力の向上を図る。 この支援により、市のスポーツ振興に関する、幅広い、きめ細かな事業の推進が可能となる。											
8	補助対象者	特定非営利活動法人 鈴鹿市スポーツ協会											
	交付先(補助対象者と異なる場合)												
9	補助金等	(単位:千円)	補助対象事業費(A)	財源内訳				補助率(B/A)	補助対象事業費の繰越額(C)	補助金に対する繰越金の割合(C/B)			
				市補助金(B)	国補助金	県補助金	その他						
		R5年度決算額	22,403	20,157	0	0	2,246	90.0%	0	0.0%			
		R6年度決算額	22,175	21,851	0	0	324	98.5%	0	0.0%			
		R7年度当初予算額	23,684	23,684	0	0	0	100.0%					
R8年度予算要求額	24,647	24,647	0	0	0	100.0%							
10	補助対象事業費の内訳(具体的に記載)	嘱託、臨時職員の人件費、スポーツ少年団の運営費に対する補助											
	補助金等の算出根拠(具体的に記載)	前年度の実績に基づいて算出 ・事務費補助 18,697,000円 ・事業費補助 5,425,000円 ・スポーツ少年団運営費補助 525,000円											
	増減理由	スポーツ振興事業の追加による事業費補助分の増加。											

(2) 補助金等判断基準

11	総合評価点	20	12	適否の評価	継続
13	補助金等の判断基準	評価点	評価の理由		
	必要性	5 (減点) 0	総合計画の施策である、生涯スポーツの推進と合致するものであり、各種事業への市民の参加及びニーズも高い。 また、市では同種の事業を実施しておらず、当協会が、日本スポーツ協会の下部組織として、この分野を担っており、競技スポーツ及び生涯スポーツ全般の普及・振興に貢献している。		
	公平性	5	特定の個人・団体等に特権的な恩恵や利益を与えるものではなく、広く市民のためにスポーツ振興事業を実施している。		
	効果性	5	【評価の理由】 市民のニーズに応じたスポーツ振興の促進を図りつつ、各種スポーツ教室等を実施しており、今後もスポーツ振興全般のさらなる進展が見込まれる。 【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況(具体的に記載)】 市が担うべき競技スポーツや生涯スポーツ全般の普及・振興に関する事業を実施しており、鈴鹿市のスポーツ分野において大いに貢献している。		
	透明性	5 (減点) 0	事業計画書に沿った活動を行い、適切な会計処理を行っている。 また、団体構成員からの会費や参加費等を積極的に徴収するなど、自主財源の確保にも努力をしている。		

(3) 終期延長の理由(終期を延長した初年度のみ記入) 前回終期 令和 7 年度

本協会は、本市が担わなければならないジュニア世代や若手を中心とした各競技種目の選手強化や競技団体の育成などの競技力向上をはじめ、本市のスポーツ振興及び生涯スポーツ活動の普及を包括的に担っており、補助金を廃止することで団体の活動に支障が出ることは、本市のスポーツ振興に大きな影響を与えるため、補助制度を継続するものである。